

1 経済日誌

2016年8月～2016年11月

全 国		和歌山・大阪	
8月2日	経済対策 28兆円 閣議決定 政府は、今年度と来年度の実質国内総生産（GDP）が1.3%分押し上げられる効果を見込む、28兆1000億円の経済対策を閣議決定した。	8月9日	県立医大薬学部 2021年4月開学へ 県は、県立医大薬学部設置の基本計画を発表した。概算総事業費は177億円で、和歌山市の中心部に建設し、2021年4月の開学を目指す。
8月5日	社会保障給付費 112兆円 過去最高 国立社会保障・人口問題研究所は、2014年度の年金、医療、介護などの社会保障給付費が前年度比1.3%増の112兆1020億円となり、過去最高を更新したと発表した。	8月31日	特許庁の独立行政法人 大阪に拠点 経済産業省は、2017年度予算の概算要求を発表し、特許庁所管の独立行政法人、工業所有権情報・研修館（略称 I N P I T = インピット）の近畿統括拠点（仮称）の設置を盛り込んだ。
8月17日	7月の訪日外客数 最多 229万人 日本政府観光局が発表した7月の訪日外客数は、前年同月比19.7%増の229万6500人で単月として過去最高を記録した。	9月2日	総務省統計局、和歌山に拠点 政府は、総務省統計局の業務の一部を県内に移転させると発表した。「統計データ利活用センター（仮称）」を設置し、2018年度に業務を開始する。
9月20日	商業地 9年ぶり上昇 国土交通省が発表した2016年7月1日時点の基準地価は、全国商業地が前年比0.005%のプラスとわずかながら9年ぶりに上昇した。住宅地は、全国平均で0.8%下落となった。	9月9日	県内の観光客 過去最高 県が発表した県観光客動態調査によると、2015年に県内を訪れた観光客は前年比8.4%増の3339万9千人で、過去最高だった2007年（3208万2千人）を更新した。
9月21日	日銀金融緩和、金利重視に転換 日本銀行は、金融政策決定会合で金融緩和の枠組みを修正し、市場に流すお金の「量」を重視する政策から「金利」を軸とする政策に転換することを決めた。	9月20日	府下商業地 4.7%上昇 府が発表した7月1日時点の基準地価は、商業地の上昇率が4.7%となり、2年連続全国1位となった。商業地の上昇は4年連続。
10月24日	貿易黒字 震災前超す 財務省が発表した2016年4～9月期の貿易統計速報（通関ベース）は、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支が2兆4580億円の黒字となり、東日本大震災前の2010年度下半期（2兆6億円）を上回った。	10月24日	県内 22カ所が世界遺産追加登録 ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産委員会臨時会がバリで開かれ、熊野古道で知られる世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、県内22カ所の追加登録が承認された。
10月31日	訪日客 初の2000万人突破 観光庁は、2016年の訪日外国人観光客が30日に2000万人を超えたと発表した。暦年ベースで2000万人の大台に乗せるのは初めて。	10月25日	大阪 外国人客 35%増 大阪観光局は、2016年1～9月に府内を訪れた外国人客数が前年同期比35%増の711万人だったと発表した。2015年通年の716万人に迫る水準。
11月9日	経常黒字 9年ぶり高水準 財務省が発表した2016年度上半期（4～9月）の国際収支統計速報によると、経常収支は10兆3554億円の黒字で、上半期としては9年ぶりの高水準となった。	10月26日	府人口 68年ぶり減 府は、国勢調査の確報値（2015年10月1日現在）で、府内人口が883万9469人だったと発表した。前回調査から2万5776人減り、68年ぶりに減少に転じた。
11月14日	GDP実質 2.2%増 内閣府が発表した2016年7～9月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動の影響を除いた実質成長率で前期比0.54%増、年率換算で2.2%増となった。	10月27日	県人口 65年ぶり100万人割れ 県は、国勢調査の確報値（2015年10月1日現在）を発表した。県人口は96万3579人で、1950年以来65年ぶりに100万人を割り込んだ。

2 地域開発のうごき

2016年8月～2016年11月

和歌山県内

8月2日 美浜町の松原高台津波避難場所整備へ

津波発生時の避難所として、美浜町吉原に整備される松原地区高台津波避難場所の安全祈願祭が行われた。近畿で最大規模の人工高台で、避難対象地区住民全員の収容が可能。

8月19日 紀南看護専門学校が着工

公立紀南病院組合が運営する、紀南看護専門学校の起工式が、田辺市新庄町の紀南病院敷地内で行われた。現校舎の老朽化に伴う移転新築で、完成は2017年7月の予定。

8月22日 串本海上保安署が高台に庁舎移転

串本海上保安署の庁舎が、地震、津波対策のため、串本町串本の海に面した低地から同町サンゴ台の高台に新築移転し、通常業務を開始した。

8月23日 岩出市新庁舎は隣接地に

岩出市は、老朽化した現庁舎に隣接する民有地（約2400平方メートル）を取得するめどがついたとして、新たな庁舎と駐車場を建設する計画を明らかにした。現庁舎は継続して使用。

9月15日 田辺市庁舎の高台移転表明

田辺市は、津波・洪水の想定浸水域内の老朽化している市役所本庁舎と市民総合センターについて、中心市街地から近い高台に移転する方針を発表した。

9月15日 和歌山市駅の再開発にカンデオホテルズが出店

南海電鉄は、和歌山市駅前の再開発事業で予定しているホテル事業について、全国チェーンの「カンデオホテルズ」の出店決定を発表した。客室数122室で、2020年春の開業を予定。

10月7日 県内公衆無線LAN 1500アクセスポイント達成

県は、外国人旅行者等が快適に滞在できるように整備を進めている公衆無線LAN「和歌山フリー Wi-Fi (ワイファイ)」のアクセスポイントが、9月末で1500カ所を超えたと発表した。

10月13日 和歌山下津港 大型クルーズ船停泊へ改良

近畿地方整備局は、和歌山下津港に大型クルーズ船が停泊できるよう、既存の岸壁にあるワイヤやロープで船を係留するための柱やくいを改良する費用の補正予算措置を行った。

11月1日 紀中森林組合が発足

日高郡内にある川辺町、中津村、美山村、印南町の4森林組合が統合した新組織「紀中森林組合」の設立式が行われた。正組合員数は2073人で、県内全20組合中1位となった。

11月24日 JR紀伊田辺駅 新駅舎建設へ

田辺市は、津波被害などが懸念されるJR紀伊田辺駅の駅舎建て替えについて、来年1月からJR西日本が詳細な設計に入り、そのための市の負担金を補正予算に計上すると発表した。

3 地域開発のうごき

2016年8月～2016年11月

大阪府内

8月5日 おおさか東線のJR長瀬－新加美駅間に新駅

JR西日本と大阪外環状鉄道は、おおさか東線のJR長瀬－新加美駅間に設置する新駅の概要を発表した。新駅は、両駅の間地点の東大阪市衣摺5丁目に位置し、2018年春開業予定。

8月10日 大阪駅北側に花と緑の庭園「うめきたガーデン」が10月オープン

JR大阪駅北側の再開発区域「うめきた2期」につくられる庭園「うめきたガーデン」の概要が発表された。広さは7500平方メートルの大庭園で、10月から来年3月までの開設となる見込み。

8月31日 大阪駅前に新複合ビル

家電量販店大手のヨドバシカメラは、JR大阪駅北側に複合ビル「ヨドバシ梅田タワー（仮称）」を建設すると発表した。約1千室のホテルや小売店などが入り、2019年秋の完成を予定。

8月31日 環科研と公衛研統合の新研究所 東成区に設置決定

府と大阪市は、来年4月に市立環境科学研究所と府立公衆衛生研究所が統合されてできる地方独立行政法人「大阪健康安全基盤研究所」を大阪市東成区に設置することを決めた。

9月12日 GLP、寝屋川市に大型物流施設

シンガポール政府系の物流施設大手グローバル・ロジスティック・プロパティーズ（GLP）は、寝屋川市で大型物流施設「GLP寝屋川」の開発を行うと発表した。2018年春の完成を予定。

9月28日 りんくうタウンにがん診療施設

ロート製薬は、泉佐野市のりんくうタウンに国際医療複合拠点「メディカルりんくうポート」が完成したと発表した。最先端のがん治療を中心に、訪日外国人患者らを積極的に受け入れる。

10月28日 東海道支線地下化・新駅設置（大阪市北区～福島区）全工区が着工

大阪市とJR西日本がJR大阪駅北側に広がる、うめきた2期エリアで進める総延長約2.4キロメートルの東海道支線地下化・新駅設置事業が全工区着工した。

10月28日 大阪縦走「なにわ筋線」、JR・南海で共同運行

JR西日本と南海電気鉄道が大阪都心を南北に貫く鉄道新線「なにわ筋線」を共同運行とし、南海電車のJR新大阪駅への乗り入れを検討していることが分かった。

11月2日 御堂筋に25階建て複合ビルを建設

オービックは、御堂筋に面する遊休資産を活用し、オフィスとホテルを核とした複合ビルを建設すると発表した。建設費250億円、地上25階建てビルで2020年1月の完成を予定。

11月16日 JR西日本 梅田に高級ホテルを建設

JR西日本は、大阪・梅田に新ブランドの高級ホテルを建設すると発表した。JR大阪駅北側で地上8階建て、客室約400室の宿泊特化型ホテルを建設し、2018年春の開業を目指す。

4 関西国際空港

2016年8月～2016年11月

関西国際空港

8月9日 エアロプラザに「ファーストキャビン」がオープン

ファーストキャビンは、関西国際空港のエアロプラザに飛行機のファーストクラスをイメージしたコンパクトホテル「ファーストキャビン関西空港（仮称）」を来年3月に開業すると発表した。

8月25日 関空－成田線を就航

春秋航空日本は、9月28日から関空－成田線をデイリー便で新規就航すると発表した。これにより、同航空の国内線は、広島、佐賀、新千歳線とあわせ4路線となる。

9月1日 関空－上海線を就航

ピーチ・アビエーションは、11月1日から関空－上海線を週5便で新規就航すると発表した。上海線の開設は、日本の格安航空会社（LCC）で初めてとなる。

9月23日 8月旅客数 最多237万人

関西エアポートは、8月の関西国際空港の利用状況を発表した。旅客数は前年同月比4%増の237万人で、単月の旅客数としては1994年9月の開港以来、最多となった。

10月28日 関空新ターミナル 来年1月開業

関西エアポートは、関西国際空港で建設している格安航空会社専用の新ターミナルビルについて、工期が短くなったことから開業時期を来年3月から来年1月に前倒しすると発表した。

10月28日 関空国際線 冬季スケジュールは過去最高の週1273便

関西エアポートは、関空国際線の2016年冬季スケジュール（10月30日～来年3月25日）のピーク時の就航便数について開港以来最多の週1273便を計画していると発表した。

10月28日 関空－大邱線を就航

韓国の格安航空会社エアプサンは、12月23日から関空－大邱線をデイリー便で新規就航すると発表した。

10月28日 神戸空港運営権 関西エアポート 応札へ

関西空港と大阪（伊丹）空港を運営する関西エアポートは、神戸市が運営する神戸空港の運営権売却の入札に参加する意向を表明した。

11月22日 関空－成田線、函館線を就航

バンニラエアは、来年2月18日から関空－成田線をダブルデイリー便、3月18日から関空－函館線をデイリー便で新規就航すると発表した。

11月25日 関空の外国人客 年間過去最高

関西エアポートが発表した関西国際空港の1～10月累計の外国人旅行客数は、1020万人となり前年同期比で24%増え、通年で過去最高だった2015年の1002万人を上回った。